



大田原市出身  
緑川光さん

### とちぎ未来大使紹介

『キテレツ大百科』でのデビューから、現在も第一線で活躍中の大人気声優。端正な声の特徴で、『SLAM DUNK』の流川 楓役、『新機動戦記ガンダムW』主人公ヒロ・ユイ役をはじめ、クールで二枚目のキャラクターを演じるなど、多くの女性ファンを魅了しています。近年では、『うたの☆プリンスさまっ♪』の人気キャラクター鳳 瑛一役や、『坂本ですが？』の主人公坂本役などの数々の作品に出演。

デビュー当初はアクセントで苦労されたとのことですが、ファンの声援と地道な努力で現在に至っています。栃木県内イベントへの参加や、栃木弁のキャラクターを演じるなど、「栃木弁マイスター」としてご活躍されています。

ここで手に入る!

とちぎの伝統工芸品



栃木県指定伝統工芸品を購入できるお店をご紹介します。営業時間や定休日などは、直接店舗等にお問い合わせください。また、取扱内容は変更になる場合があります。

【栃木県伝統工芸品についての問合せ】  
栃木県工業振興課  
TEL:028-623-3198

### 関西栃木県人会



関西栃木県人会は、1960年2月に発足し、今年節目の60年を迎えました。現在の会員数は80名弱ですが、2018年の大阪センターの開所効果で、若い方の入会が増えています。甲子園球場や花園ラグビー場等で開催される全国大会7競技での本県チームの応援や、新春互礼会、春・秋のレクリエーションなど、年間を通して楽しい行事がいっぱいあります。関西にお住まいの栃木県に縁のある方、随時入会をお待ちしております!

【問合せ】栃木県大阪センター  
TEL:06-6314-6123 Email:tochigi-osaka01@sage.ocn.ne.jp

### 知事からのメッセージ



栃木県知事 福田 富一

皆さまにおかれましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでの日常生活や職場環境などが一変したことと思います。

5月25日に国の緊急事態宣言が解除となりましたが、今後の生活は、新型コロナウイルスとの共存を前提としなければなりません。これまでどおり、皆さまを心から笑顔で温かくお迎えするため、栃木県では、新しい生活様式の実践・定着など感染拡大防止と社会経済活動の本格化の両立に取り組んで参ります。今後も引き続き、栃木県へのご支援・ご声援をお願いいたします。

とちぎのアンテナショップ  
おすすめ商品お取り寄せ!

とちぎならではの“味”や“もの”が詰まった「とちまるショップ」。店舗での購入だけでなく、オンラインでお取り寄せもできます。とちぎ和牛などの人気名産品や、クラフトビールセットといった限定商品など、魅力的な商品を取りそろえています。ぜひご自宅で“とちぎ”をお楽しみください。

折り紙 黄ぶな  
栃木のお野菜 セット

【店舗所在地】  
東京都墨田区押上1-1-2東京スカイツリータウン・ソラマチ イーストヤード4階  
TEL:03-5809-7280

とちまるショップオンライン 検索

ご意見をお待ちしています  
抽選で合計15名様にご希望の伝統工芸品と特産品のセットをプレゼントいたします。  
応募締切:2020年8月31日必着

- 黒羽藍染:御朱印帳 + 北限の紅茶 那須 雲巖の静謐
- 黄鮒:張り子とキーホルダー等セット + 宇都宮の冷凍餃子
- 鹿沼組子:コースターセット + 黒田養蜂園 国産はちみつ
- 益子焼:スープカップと6寸皿のセット + ましこピクルス
- 結城紬:ペンケース + かんぴょううどん

はがきに、郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・感想・今後取り上げてほしいこと・ご希望の番号を2つまで記入の上、下記の宛先までお送りください。または、下記の二次元バーコードにアクセスして、ご応募ください。

〒321-0901 栃木県宇都宮市平出町3751-11  
トチベ「ふるさと“とちぎ”だより」係

問合せ 栃木県県民生活部広報課  
〒320-8501 栃木県宇都宮市埜田1-1-20  
TEL:028-623-2192 FAX:028-623-2160

栃木県の県外事務所  
【栃木県東京事務所】 TEL:03-5212-9064  
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館11階  
【栃木県大阪センター】 TEL:06-6314-6123  
〒530-0027 大阪府大阪市北区堂山町3-3 日本生命梅田ビル2階

本紙は本県の県外事務所入手できるほか、県HPでも閲覧できます。次号の発行は11月下旬を予定しています。

ふるさと “とちぎ” だより  
TOCHIGI DAYORI vol.3

ご意見をいただいた方の中から抽選で15名様に「とちぎの伝統工芸品」をプレゼント!  
※応募の詳細は最終ページ参照

手から創まる  
とちぎの伝統工芸品

COVER PHOTO 黒羽藍染(くろばねあいぞめ)  
黒羽藍染紺屋/大田原市黒羽向町88 ☎0287-54-0865

初代、紺屋新兵衛が野州黒羽の地に藍がめを埋め込み、紺染めを始めたのは文化・文政の頃。それから二百年、伝統的手法により『藍』を建て続けてきました。豆汁(ごじる)に松の根を燃やして作る良質なす(松煙墨(しょうえんずみ))を混ぜて、下染めする技法が大きな特徴で、これにより藍の色がより濃く色あせにくくなるといいます。8代目の小沼雄大(おぬまゆうた)さんは、従来の商品に加え、スニーカーやシャツなど現代の暮らしにも取り入れやすい作品創作に日々取り組んでいます。

2020年6月発行

# 風土と歴史に育まれた匠の技

Tochigi Traditional Crafts

## 栃木県伝統工芸品

ふっくらとして愛らしい姿の張り子は、無病息災の祈りを込めた郷土玩具



【うつのみや】  
宇都宮市

### 黄鮒

江戸時代、宇都宮で子供たちに天然痘がはやり、黄色の鮒を食べさせたところ、病気が治ったと言われています。そうした説話から、黄鮒の玩具を作って、毎年正月に玄関先に飾り、無病息災を願うようになりました。



ふくべ洞2代目の小川昌信さんがその技を伝承しています。  
ふくべ洞/宇都宮市大通り2-4-8  
☎028-634-7583

【かぬま】  
鹿沼市

### 鹿沼組子

釘や金具などをいっさい使わず、何千もの部品に切り込みを入れ、手作業で組んでいく



麻の葉などをモチーフにし、欄間、書院障子など和室の建具を飾る最高の贅沢品です。現在は、ホテルのロビーや美術館のエントランス、公共建築物など幅広い空間にインテリアとしても利用されています。



「先人たちが伝え続けてくれた匠の知恵や技を、国内外に知ってもらい、未来の子供たちに伝えていければ」という伝統工芸士の吉原秀美さん。  
鹿沼建具商工組合(白石物産株式会社 内)  
鹿沼市茂呂2627-1 ☎0289-62-8151

長年にわたり受け継がれている技術が用いられた工芸品のことを、伝統工芸品といいます。

熟練した手仕事から生まれた伝統工芸品は、長い時の中で、日々の暮らしを豊かに彩ってきました。

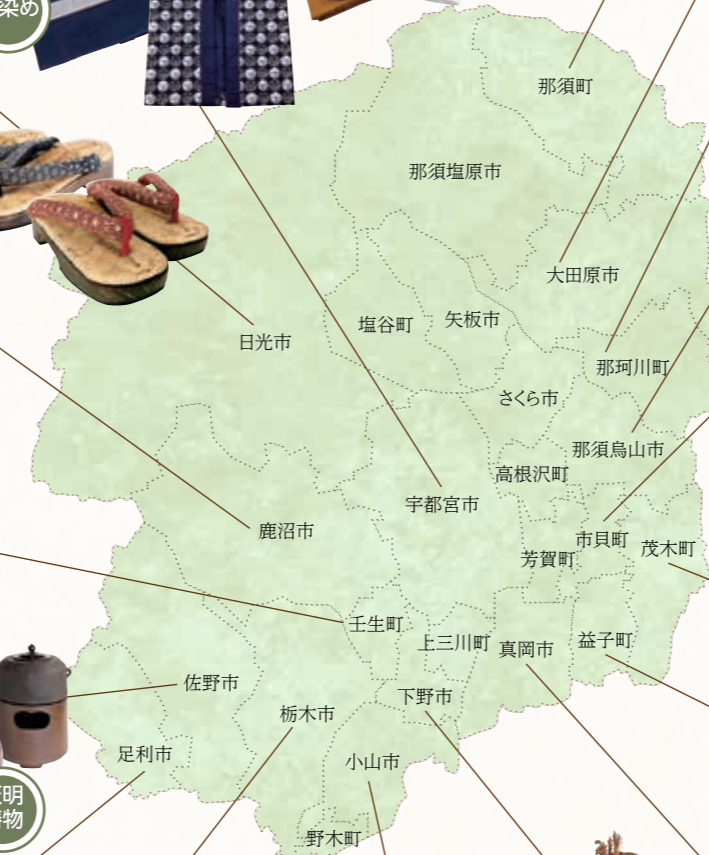
## 栃木県伝統工芸品マーク



指定工芸品には、このマークを貼付することができます。マークの意味は、全体の形は「と」を表し、栃木県を象徴化。「伝工」の文字が入った赤の部分は、栃木県伝統工芸品が象徴化された栃木県を基盤に、明日へと発展していく姿を表しています。

## 栃木県伝統工芸品マップ

栃木県内の全59品目を掲載



宇都宮市【うつのみや】

- 曲物
- 宇都宮の挽物
- 指物
- 和太鼓
- ふくべ細工
- 黄鮒
- 宮染め
- 大谷石細工
- 野州てんまり
- 和弓用矢
- 三味線
- 琴

日光市【にっこう】

- 今市の挽物
- 指物
- 日光下駄
- 郷土玩具日光茶道具
- 日光彫
- 杉線香

鹿沼市【かぬま】

- 下野水車
- 鹿沼総桐箆
- 鹿沼組子
- 鹿沼箆
- 鹿沼さびがら細工

壬生町【みぶ】

- 和太鼓

佐野市【さの】

- 天明鑄物
- 佐野衣装着雛
- 佐野節句かけ軸
- 佐野の生人形
- 栃木鬼瓦
- 佐野土鈴・土笛
- 佐野武者絵のぼり

足利市【あしかが】

- 行庵手織(草木染)
- 解し織
- 草木染
- 足利の藍染

栃木市【とちぎ】

- みかも焼
- 栃木の樽
- 栃木の桐下駄
- 新波の提灯
- 都賀の座敷箆
- 栃木の線香

野木町【のぎ】

- 野木の石仏
- 渡良瀬遊水地よしず

那須町【なす】

- 芦野石細工
- 那須の篠工芸

大田原市【おおたわら】

- 竹工芸
- 黒羽藍染

那珂川町【なかがわ】

- 小砂焼

那須烏山市【なすからすやま】

- 烏山手すき和紙

市貝町【いちかい】

- 市貝の箕
- 大畑家の武者絵のぼり

茂木町【もてぎ】

- 茂木の打刃物

益子町【ましこ】

- 益子草木染
- 益子焼

真岡市【もおか】

- 真岡木綿

下野市【しもつけ】

- 石橋江戸神輿・神仏具

小山市【おやま】

- 家紋帳筆管・ダルマ戸棚
- 下野しぼり
- 間々田紐
- 結城紬
- 本場結城紬織機(地織)

## 栃木県伝統工芸士の認定について

栃木県伝統工芸品の製造に従事している人の中から、高度の技術・技法を保持している人を栃木県伝統工芸士として認定することにより、社会的な声価を高めるとともに、従業意欲と技術の向上を図り、後継者の育成と伝統工芸品の次代への継承に寄与することを目的としています。

1979年に国の伝統的工芸品に指定され、約400人の陶工が集う

【ましこ】  
益子町

### 益子焼



江戸時代末期から器が焼かれていた益子は、陶祖・大塚啓三郎や人間国宝・濱田庄司など多くの陶工たちの手で、日本を代表する焼物の産地となりました。陶土採掘から完成まで様々な工程を経て、素朴な美しさで温かな手ざわりのある器となります。



陶歴40年以上の益子焼伝統工芸士の床井崇一会長の指先から、温もりある美しいフォルムが創り出されます。  
益子焼協同組合/益子町益子4352-2  
☎0285-72-3107

1977年に国の伝統的工芸品に指定、2010年にはユネスコの無形文化遺産に栃木県で初登録!

【おやま】  
小山市

### 結城紬



小山市の東部農村は、かつて桑村・絹村と呼ばれ、養蚕が盛んでその副産物として紬が織られてきました。製作にかかる40以上の工程は全て手作業で、たくさんの人の手と時間をかけて一つの反物が出来上がります。



「着物を着ていただける方に喜んでいただき、幸せになってもらえたら」と願いを込めて織る須藤伸子さん。  
栃木県本場結城紬織物協同組合/小山市福良2358  
☎0285-49-2430